

氷取沢で収穫された野菜たち。どこに行くの？どこで買えるの？



チヨさんの畑で収穫された、今季最後の夏野菜。トマトが美味しかった。撮影：豊田直之



洋光台の野菜直売所。チヨさんのまわりには、いつも人が集まってくる。

るのだろう？ 農作業中の農家の方々に聞いてみた。

JA横浜杉田に併設されている『杉田野菜直売所』（京急・杉田駅から徒歩2分）や個々が設置している無人販売所、その他、車で移動販売したり、近隣の小学校の給食に使われたりなど、様々な方法で市場に出るそうだ。地域のイベントで、フライドポテトや鍋の材料になったりもするらしい。

先ほどのチヨさんの畑の野菜は、毎週火曜日と金曜日に洋光台のイトーヨーカドー近くの野菜直売所にチヨさんと一緒に並ぶ。

チヨさんの野菜は無農薬栽培で知られ、例えばキャベツにつく青虫などは一匹一匹手で取り除くそうだ。そこまでも、キャベツの表面はレースのように穴だらけになる。ところが、そんなチヨさんの野菜がとっても美味しいと、朝8時の開店前から並ぶファンも多く、いつもあっという間に完売するそうだ。



BROMPTON M3L color:グリーン/ブラック 変則段数:3Speed 重量:11.6kg ホイール:16inch GREEN CYCLE STATION http://www.gcs-yokohama.com



「これから大根植えるよ」とチヨさん。とにかく働き者だ。撮影：豊田直之

いことだ。

ここでは、20戸余りの農家が生産を行なっていて、大規模なビニールハウスもあれば、『特区農園』と呼ばれる、土地所有者が開設する区画貸しタイプの小さな農園や、『環境学習農園』と名付けられた、児童に農家が指導を行なう

氷取沢の農地は20.9ha（ヘクタール）あり、横浜市にある28の『農業専用地区』の一つに指定されている。これは、横浜市が、①新鮮な農作物を市民に供給する。②地域の自然や田園風景を保全する。③災害時などに市民を守る防災空間とする。という3つの目的のもと、保全を図っている農地のこと。明治時代以前から農地だったというこの土地が、これからも農地であり続けることは嬉し

農園もある。『環境学習農園』には、時々、地域の小学生たちのサツマイモを植えたり収穫をしたりする元気な声がひびく。

日当たりと風通しがよく、豊富な湧き水のある理想的な農地で、里芋、なす、とうもろこし、トマト、キャベツ、小松菜、大根、ブロッコリーなど、一年を通して、豊富な種類の野菜が収穫される。

では、この氷取沢産の野菜たちは、どこで購入でき

大岡川に、暮らす、働く、学ぶ、遊ぶ、人

道下 勝基(みちした かつもと)さん カワセミ写真家・田中 篤(たなか あつし)さん

当NPOのイベントにも度々参加され、いつも野鳥や野生動物の興味深い話を聞かせてくださるお二人。一緒に20年近くもカワセミを追いかけ、横浜のカワセミを中心に、日本中の野鳥や野生動物を撮影されている。

道下さんのピュアで温かく、どこか愛嬌のある写真は編集部員の間でも人気で、以前、その道下さんから「カワセミはボクの友人の方がスゴい」とご紹介いただいたのが田中さん。

野鳥は、鳴き声が聞こえても姿が見付けられないことが多い。見付けても、遠くて障害物も沢山あるうえ、飛び立つ可能性もある。

飛ぶスピードの速いカワセミなどは、一目見られただけで幸運だと、記者は思っている。

そんな野鳥の四季折々の表情や生態を写真で見られるのは、とても感動的で、ましてや、田中さんが撮影されてきたカワセミの決定的瞬間などは「どうしたら撮れるの?」と思ってしまうが、鳥は比較的規則正しく生活するらしく、お二人は、現れる場所と時間帯、習性などを熟知して撮影に挑まれるようだ。

野鳥の撮影につきものの、広い範囲で被写体を捉えやすくする『照準器』を使用せず、直接ファインダーを覗いて撮る少数派だとい



大岡小学校付近のゴイサギの若鳥。これぞ、道下ワールド。撮影：道下勝基

うこともうなずけるマニアックぶり、どんな鳥がどの辺りにいつ頃いる、ということをお二人はよくご存知だ。

大岡川には多くの野鳥が生息しているが、道下さんによると、撮影するときに背景のコンクリートやゴミがじゃまをすることが多いそうだ。当NPOの大岡川環境保全活動も、まだまだこれからなのだ。そして、この根気の源は、お二人同様、他ならぬ『生き物への愛情』なのだと思感させられた。

田中さんのカワセミ写真集『King Fisher』は、kindleストアで購入することができる。また、今号の『大岡川野鳥観察記』は、田中さんが大岡川流域で撮影されたカワセミの写真を使わせていただいた。



源流域氷取沢で、それぞれの愛用のカメラを構える田中篤さん(左)と道下勝基さん(右)。野鳥を撮るのは、やはりこんなカメラ。撮影：豊田直之

多種多彩のパンが満開！ 街の皆に愛される、いつものパン屋さん。

『イル・デ・パン』L'ile des Pains

横浜市磯子区田中2-25-6 045-771-9689

大岡川に沿って笹下釜利谷道路を歩いていた時に発見した、おしゃれなパン屋さん。源流域の氷取沢まであと20分ほど……パンの焼けるいい香りに思わず立ち止まったところ、「ここ、とってもおいしいのよ〜」と街の人が教えてくれた。

インナップを洗練させた総菜パンは安定の美味しさ。記者が特に忘れられないのが、天然酵母使用の甘栗パン(210円)とイチヂクのタルト(280円)。とにかく種類豊富で回転が速く、リピートしたかったものが無い、といったことも多い。

バゲットや昔ながらのラ

それもそのはず、オー



一番人気は、「磯子の逸品」に認定されたチキンカレーパン(200円)。

ナーのご夫婦は、ともに職人さんで、いくつものパン屋やケーキ屋で修行された経験があるそうだ。

「お子様からお年寄りまで、皆さ



ヨーロッパの街角のデリのような、赤い外観。撮影：豊田直之



次々に焼き上がり並べられる数々のパン。そして、どんどん無くなっていく。撮影：豊田直之

んに毎日食べていただけるパンを」とおっしゃる通り、作り手のこだわりの強さより、いただく人への温かい愛情を感じられるパンの数々。開店から5年、街の人にも『大岡川ニュース』にも愛されている。

大岡川の『生き物みーつけた!』 No.6 アカタテハ



翅(はね)を全開にしたときの横幅6cmほどの中型の蝶で、秋になると、花の蜜を吸いに林の中から姿を現します。夏にカブトムシやクワガタと一緒に樹液を吸っていることや、翅を広げて止まることが多いため、蛾の仲間と間違えられることが多いですが、蝶の仲間です。写真のように、表翅はとても鮮やかなコントラストです。翅裏

も複雑で引き込まれるような美しさですが、幼虫は真っ黒で、白い棘状の突起に覆われ、ケムシと呼ばれる外見を持っています。しかし、この格差が不思議な魅力でもあります。成虫のまま越冬をするので、秋にコスモスやサザンカなどの花の蜜を吸い、冬に備えます。大岡川流域では、ほぼ一年を通してアカタテハの姿が見ら

れます。また、他にも沢山の種類の蝶が生息していて、蝶や昆虫の観察や撮影にはうってつけの場所です。

生息する生き物の種類の豊富さは、生態系がバランスよく存在していることのバロメーターです。大切にしたいですね。



発見場所:氷取沢コスモス街道 撮影:豊田直之

湘南太陽会グループは 人々の心とからだの健康を総合的に支援します。

湘南太陽会

毎日診療しているクリニック 鳥居泌尿器科・内科 [金沢町]

23時まで診療しているクリニック 相生23クリニック [関内]

駅前で21時まで診療しているクリニック ねぎし泌尿器科・内科 [橋本]

泌尿器科トラブルの総合カウンター スカイビル腎・泌尿器科クリニック [橋本]

しえあひるずヨコハマ SHARE HILLS YOKOHAMA 居住空間と展望台のレンタルスペース

https://www.facebook.com/sharehills/

新車販売 車検 板金 加賀美自動車

南区永田南1-4-10 045-741-7321 info@kagami-car.com